

令和5年度 園経営計画 足立区立おおやたこども園

園長 小俣 春美

1 園の経営目標

- 1 子どもの最善の利益を第一に考え、子どもや保護者、地域との信頼関係を築き、『共育』を進めていくことで子どもや保護者にとって安心して自分の思いが出せる園づくりを進める。
- 2 深い愛情、様々な出会い、かかわりあいをとおして「かんじるころ」「かかわるよろこび」「やりぬくつよさ」をもった子どもを育てる。
- 3 人権尊重の理念に立ち、専門性の学びを活かし、子どもの健全な発達を図る。

2 園の現状

園生活では、子ども自身で遊びを見つけ遊ぶ場所、遊ぶ物を選べるようにしてきた。特に朝は、1歳児クラスから5歳児クラスの子どもの園庭で入り混じって遊んでいるので全職員がチームとなり保育に当たっている。

子ども一人一人、その子らしく力が発揮できるようインクルーシブ保育について園内研究で学び、保育を進めている。環境についても絵本、音楽、園庭（運動）の環境プロジェクトで学びを活かし工夫した環境になるよう検討・協議している。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項－1	・子ども自身が「自分は大切な存在である」と感じながら安心して過ごせるようにする。
-------------------	--

具体的な取り組み

項 目	具体的な内容
・常に人権意識を持ち、子どもにも職員間でも尊重し合える職員集団をつくる。	・年度初めに保育の質ガイドラインを活用して人権の尊重について具体的な保育の事例から確認する。 ・月1回、「保育を語る会」を設け、人権やインクルーシブ保育の視点で保育を振り返る機会をつくる。
・安心、安全な教育・保育の実現のために「生命」の安全教育を行う。	・日々の保育の中で、子どもが大事にされていると実感できるよう思いを受け止め、応答的にかかわっていく。 ・様々な教材（生物・植物・絵本等）をとおして自分や他者を大事にする気持ちを育む。

重点的に取り組んでいきたい事項－2	・園生活をとおして子どもの主体性を育てる。
-------------------	-----------------------

具体的な取り組み

項 目	具体的な内容
・園生活の中で、子ども自身が意欲的に過ごせるようにする。	・子どもが生活に見通しを持ち、自信をもって過ごせるようインクルーシブ保育の視点で環境を構成していく。 ・子どもの声をよく聞き、一人一人丁寧にかかわっていく。
・年齢発達や経験、興味・関心を把握し、子どもが遊びこめる環境を準備する。	・子どもが「やってみたい」「面白い」と感じられる遊びの環境構成と時間の保障をしていく。 ・保育の振り返りを行い、子どもの成長や遊んでいる姿に合わせて更に遊びが深まるよう環境を変えていく。

重点的に取り組んでいきたい事項－3	・園全体の保育の質の向上を図る。
-------------------	------------------

具体的な取り組み

項 目	具体的な内容
・研修や園内研究での学びを共有し、保育実践に活かす。	・園内研究では年に3回程度、有識者から講義を受ける。 ・研究テーマに沿って振り返りを3ヵ月に1回行う。